

次世代車の開発加速

東北大など産学プロ立ち上げ

【仙台】東北大と宮城県、東北経済連合会、トヨタ自動車東日本、十七銀行などが東北地方の自動車産業を中長期的

に育成するための「次世代自動車のための産学連携イノベーション」大規模の新製品、新システムの開発プロジェクト

を立ち上げた。

文部科学省地域イノベーション戦略支援プログラムに認定されており、次世代自動車の開発を加速させて地域関連企業の人材育成、技術力強化、震災からの復興を後押しする。

東北大学の世界最先端のシーズ・技術を活用する「知のネットワークの構築」、東北大学が主導して地域の人材育成を担う「人材育成プログラム」の開発及び実施、東北大学が持つ研究設備を地域の関連企業に開放する

「研究設備・機器などの共有化」が柱。10月中旬から人材育成と研究設備を開放する予定だ。

事業の期間は7月から17年3月までの4年6カ月で、事業規模は12億5000万円。プロジェクト発足会議には関連機関のほか、工藤電機や岩機ダイカスト工業、東北電子工業など東北地域のモノづくり企業などから約250人が参加した。